

# 10月校長講話

2016.10.05

今日の校長先生のお話は、毎日やっている「勉強」についてです。勉強って何のためにやるのか、考えたことはありますか？たぶん、皆さんの心の中は、「勉強ってやだなー、遊びたいなー、ゲームでもやりたいなー。」なんて思っている人が多いかと思います。

この写真を見てください。この像の人知っている人？ 隣同士で小さな声で言いあって下さい。この像の人は「二宮尊徳（そんとく）」と言って、別名は「二宮金次郎」と言います。今から200年ほど前に神奈川県の貧しい農家に生まれた人です。さて、この二宮金次郎のこの姿は何をしているのでしょうか？

そうです、本を読んでいます。背中には薪も背負っています。この二宮金次郎は、子どもの頃に休むことなく本を読んだり、家の仕事（薪運びや家の仕事の手伝いなど）をしたり、つまり、うんと勉強をした人ということでもとても有名になった人です。

それほど勉強した金次郎は大人になってどうなったかということ、小さい時の勉強がとても役に立ち、自分の家を建て直したり、貧しかった村や武士たちの生活を立て直したりしてくれました。そして、貧しい農民たちの力になった金次郎は、人々から立派な人だと尊敬されるようになりました。ですから、子どもの時にしっかりやった勉強は、金次郎のように大人になって、自分のために、周りの人のためにとても役に立ちます。だから、皆さんも大人になるために、今勉強しています。

さて、皆さんの、今の勉強ぶりはどうでしょうか？校長先生は時々、皆さんの勉強する姿を見に行きます。担任の先生と一緒に考えたり、発言したり、また友だちの考えや意見をしっかり聞いたりしています。「ああ、いいな。みんな頑張っているな。」と思いつつ見せてもらっています。

しかし、中には勉強に集中できずに、クラス全体の勉強している雰囲気を壊しているとか、勉強のじゃまをしているとか、周りに迷惑をかけているとか、そんな姿を見ることもあります。こういう姿を見ると「いやあ、困ったなあ。このままじゃ、この人は、体は大きくなっても、金次郎のような大人になれるのかなあ。」と心配になります。

そこで、その心配を吹き飛ばすような、勉強を頑張る姿を紹介します。何がいいかというと、

- ①姿勢がいい
- ②しっかり考えて、自分の考えをもっている
- ③先生や友達に目を向けて見て話を聞いている
- ④友だちの発言に頷きながら聞いている
- ⑤友だちの発言に続けて、自分の考えを付け足しながら発言している
- ⑥発言の声大きい
- ⑦学習した内容の振り返りを、ノートに書いている
- ⑧十分に分からなかったときは、先生や周りの友だちに聞いている

このような姿を、大森小の先生方全員が望んでいますし、皆さんのお父さんやお母さんも望んでいます。今、勉強している内容は、中学校や高校、あるいは社会に出た時に役に立

つ勉強です。先ほど話したように「勉強は大人になるためのもと」です。

さ来週の10月21日は、東根市内外から100名を超える先生方においでいただき、各学年を代表して1クラスずつ、皆さんの勉強する姿を観ていただく「研究発表会」があります。これに向けて、先生方が半年以上かけて準備を進めてきました。中には、夏休みやお休みの日まで学校に来て頑張る先生の姿を校長先生は知っています。皆さんに、「勉強分かった！」と言ってもらえるように、皆さんに算数の内容を分かってもらいたいという願いがあるから間違いありません。

そこで、校長先生からお願いです。この先生方の頑張りに皆さん、応えてください。

- ①自分の考えを元気よく大きな声で発表すること
- ②自分の考えをノートに書くこと
- ③発表された考えに、自分の考えを足してまとめること

です。

「大森小の皆さんは、自分の考えを堂々と発表していますね。周りの友だちと真剣に話し合っていますね。発表の声が大きく、人の話は頷きながら聞いていますね。」こんな声が聞こえてきそうです。今日は、皆さんの勉強ぶりを見ての、校長先生からのお願いのお話でした。